



広報
中城

Nakagusuku



No. **141**
2006.11.20

URL <http://www.vill.nakagusuku.okinawa.jp>



11月5日に行われた久場秋祭り。
多くの区民が集まり、祭りを楽しみました。
また、久場青年会の迫力あるエイサーに
会場から大きな拍手が送られました。
(14ページ関連記事)



世界各地から 古里中城村へ

ひろがるチムゲゲル、
つなげるチムチュラサを
キヤッチフレーズに10月
12日から15日までの4日
間、第4回世界のウチナ
ーンチュ大会が開催され
ました。

今大会には、21カ国・
3地域から約4千700
人のウチナンチュが古
里に思いを寄せ参加しま
した。

5年ぶりに開催された
今大会は「ウチナーネッ
トワークの次世代への継
承」を目的としており、
世界各地で築き上げてき
たウチナンチュの絆を
移住世代から若い世代に
広げる取り組みがなされ
ました。

中城村では、世界のウ
チナンチュ大会に参加
した中城出身の方々を心
から歓迎し、交流を通し
て母村との絆を深めても

らおうと10月16日、第4
回世界のウチナンチュ
大会・中城人交流会を開
催しました。

交流会の前に、午後1
時半から村内視察を行
い、約80名の村出身者が
参加しました。

村内視察では、中城城
跡を始め、老人福祉セン
ター内の慰霊の塔、村内
各字をバスで案内しまし
た。

慰霊の塔を訪れた際、
平和の波に刻まれた犠牲
者の名前に手を当て、涙
する参加者もあり、改め
て戦争の恐ろしさを実感
させられました。また、
ハワイ参加者全員から献
花もあり、平和を祈りま
した。

戦後の海外移住者数 市町村別ランキング

1.那覇市	1,311人
(①ブラジル ②ボリビア ③アルゼンチン)	
2.沖縄市	729人
(①ブラジル ②ボリビア ③アルゼンチン)	
3.中城村	670人
(①ブラジル ②ボリビア ③アルゼンチン)	
移住者総数	10,486人

戦前の海外移住者数市 町村別ランキング

1.中城村	4,095人
(①ハワイ ②ペルー ③ブラジル)	
2.羽地村	3,251人
(①ブラジル ②ハワイ ③ペルー)	
3.西原村	2,502人
(①ブラジル ②ハワイ ③ペルー)	
移住者総数	42,669人
※(1936年12月末現在、市町村名も同現在)	

世界のウチナンチュ移住国 (2005年現在)

1.ブラジル	165,744人
2.アメリカ	88,055人
3.ペルー	65,123人
4.アルゼンチン	25,342人
総数	約354,586人
※沖縄県観光商工部交流推進課ホームページより	

また、会いましょう！ 中城人交流会を開催

10月16日、第4回世界のウチナーンチュ大会・中城人交流会が吉の浦会館で行われました。

南米、北米、ハワイなどから約百名の中城人が会場に訪れました。村内からも約90名が参加し、久しぶりに会う仲間との再会を楽しみました。

交流会で新垣清徳村長は「広く海外へ雄飛した県系人は異郷の地で苦難の道を歩み、大いなる開拓の精神でそれぞれの地



▲参加者代表あいさつを述べる勢理客ジェーンさん（ハワイ）

で活躍なさっていることに心から敬意を表します。今回の交流会で更なる交流の輪が広がることを期待します」と歓迎の言葉を述べました。また、新垣善功議長は「本県が貧しかった時代に移民された方々からの物心面々の大きな援助により今日の本村発展があります。今後は恩返しする時代。古里中城村で楽しい思い出をつくり帰国して下さい」とあいさつしました。

また、参加者を代表し勢理客ジェーンさん（ハワイ）は「交流会に参加でき

たことを嬉しく思います。また次の大会でもお会いしましょう」とあいさつし、ハワイ中城村人会長の高良キャレンさんから新垣村長へ記念品の贈呈もありました。

北米から参加した比嘉朝儀さんからも中城村に対し感謝状が贈呈されました。

その他、文化協会による琉球古典音楽斉唱や琉球舞踊、日本舞踊、民謡の他、津覇の獅子舞、中城中学校空手演舞など多くの余興で盛りあがりました。

ファイナーレは全員でカチャーシーを踊り古里との絆を深め、再会を誓いました。



南米研修生、 ウチナーネットワークの 担い手として活躍



▲比嘉エドワルド哲夫さん

2000年に中城村海外移住者子弟研修生として来沖した比嘉エドワルド哲夫さん（ブラジル）が、ウチナーネットワークの担い手として今大会に参加。彼は、ブラジルで沖縄での留学、研修を経験した仲間30人で結成する「うりずん」での活動に取り組む、沖縄の文化の継承に努めています。

アメリカ在住の比嘉朝儀さんと 中城中学生が国際交流



中学生と交流を行った比嘉朝儀さん＝中城中学校



ウチナーンチュ大会を契機に県内の小・中・高校の児童生徒が海外に住むウチナーンチュと交流し、異文化について理解を深めようと一校一國運動が展開されました。

中城中学校でも村出身の比嘉朝儀さん（アメリカ）がアメリカの文化、移住者の歴史などを伝えました。

比嘉朝儀さんは北米県人会長も努め、現在はウチナーグチの講師をしています。

母校でもある中城中学校を訪れた比嘉さんは「沖縄の文化は素晴らしい。若い世代にはその文化をしっかりと継承してほしい」と話しました。



いつまでも 長生きしてね

◀ 村敬老会で余興を楽しむお年寄り＝吉の浦会館

敬老会、盛大に開催

9月18日、村敬老会が吉の浦会館で開かれ、お年寄りの長寿を祝いました。

村の敬老者は数え80歳以上で820名。平成18年9月1日現在の村総人口に対する高齢者(65歳以上)人口の占める割合は16%となっています。

式典では新垣清徳村長は「これまで中城村の発展を支えてきたのは、みなさんのおかげ。今後は健康に気をつけて長生きして下さい」とあいさつしました。その他新垣善功議長、比嘉英信老人クラブ連合会会長のあいさつがあった他、知念清(奥間)さんが長寿者を代表して「歳を重ねるごとに時間が過ぎるスピードも加速するが心の持ち方で若々しく生きることが出来る。楽しい人生を送りましょう」とあいさつしました。

式典の後、祝賀会が行われ、比嘉侑子琉舞研究所による琉球舞踊や和宇慶護佐丸太鼓、仲松正敏民謡研究所による民謡ショーなど多くの余興で盛り上がりました。

とても元気な新百歳！

新百歳の長寿と健康を祝おうと9月18日、新垣清徳村長は和宇慶の安里昌勝さんを慶祝訪問し、小泉純一郎首相からの銀杯や稲嶺恵一知事、村長からの記念品、祝い状が贈られました。

同じく新百歳の安里マツさん(泊)にも記念品等が贈られました。

トーチカ、カジマヤーを祝う

9月29日は旧8月8日でトーチカにあたり、新垣村長は数え88歳になる方々のお宅を訪問し、米寿を祝いました。



▲祝賀会での余興、かざやで風＝比嘉侑子琉舞研究所(上)、和宇慶護佐丸太鼓(下)

今年トーチカを迎えた方は38名。また、10月28日は旧9月7日でカジマヤーにあたり、新垣村長が6名の方を慶祝訪問し長寿を祝いました。



▶数え88歳になられた新垣フミさん(伊集)を慶祝訪問した新垣村長

議員選出監査委員に仲眞功浩さん



仲眞功浩さん

9月28日
から行われ
た村議定会
例会の同意
を得て仲眞
功浩さんが
議員選出監

査委員に選任されました。

10月17日に行われた辞令交付式で仲眞さんは「私たち納税者の納めた税金がムダなく適正に使われているかチェックする監査の役割は大変重要であり、村民の皆様の関心も高いものがあると思っています。村の監査委員条例や規程・基準、その他、監査に関する法律等に従い、実情をよく査察し、総合的に見地に立って監査を実施し、更生で効率的かつ民主的な行財政の運営に資することにより、村民及び議会の付託に応えたい」とあいさつしました。

固定資産評価審査委員会委員を選任



▲左から與那嶺正敏さん、米須徳子さん、仲村喜光さん

10月23日、固定資産評価審査委員会委員の辞令交付式が行われました。今回辞令を受けたのは、任期満了に伴い9月定例会で同意を得て新垣村長から再任された米須徳子さんと、與那覇朝輝さんの辞職に伴い、同じく9月定例会で承認され選任された仲村喜光さんです。
また、與那嶺正敏さんが委員長に就任しました。

秋の叙勲に

知念 清さん(奥間)

危険業務従事者叙勲に

比嘉英信さん(当間)

菊薫る文化の日、秋の叙勲が発表され、中城村から知念清さん(奥間)が瑞宝双光章に選ばれました。

また、警察官等の危険性の高い仕事に従事した方を対象とする危険業務従事者叙勲が10月13日発表され、比嘉英信さん(当間)が瑞宝双光章に選ばれています。
受章おめでとうございます。



知念 清さん



比嘉英信さん

比嘉盛光さん(泊)

農林水産大臣賞を受賞

比嘉盛光さんは昭和59年から現在までの長きにわたり村農業委員を務め、その間4期12年は会長を務めています。

その他、平成8年から11年にかけては、沖縄県農業会議副会長も務め、担い手農家の育成、農業者年金制度の普及にも力を注いできました。

また、村内において小規模農家が殆どである状況を踏まえ、農地法第3条2項における下限面積の見直しにも尽力するなど、農地の流動化にも大きく貢献しています。

今回、それらの功績が評価され農林水産大臣賞を受賞しました。
受賞おめでとうございます。



中城村童話・お話・意見発表会を開催

意見発表会を開催

第32中城村童話・お話・意見発表会が10月27日、吉の浦会館で開催され、村内小中学校の14名の児童生徒が日頃の練習の成果を発揮しました。

結果は次のとおりです。最優秀賞を受賞した児童生徒は、11月17日に行われた中頭大会へ出場しました。

【低学年の部】よしもとたかき(津覇小)、がなはみやこ(中小)
【高学年の部】仲松篤史(津覇小)、上原稲穂(津覇小)
【中学生の部】島袋創平、比嘉万美子





中城中学校2年生、村内各地で職場体験

10月16日から一週間、中城中学校の2年生が職場体験学習に挑戦しました。

沖縄仮設で職場体験をした儀間渉さんは「体力には自信があったが、かなりの重労働でとても疲れた。いろいろな作業ができて楽しい」と話しました。

中城北中城消防本部ではハブ捕獲実習や放水訓練、救助訓練など11名の生徒が研修を行いました。

また、役場で研修をした新垣宇海さんは「公務員の仕事はデスクワークばかりだと思っていたが、現場の仕事もあり驚いた。実際に体験をしなければ、わからなかった」と話しました。

その他、北上原のプチスイートやネットトヨタ、学校関係、給食センター、コンビニ、ガソリンスタンドなど約50箇所グループに分かれ体験学習をしました。



▲プチスイートで未来のパティシエを目指す中学生



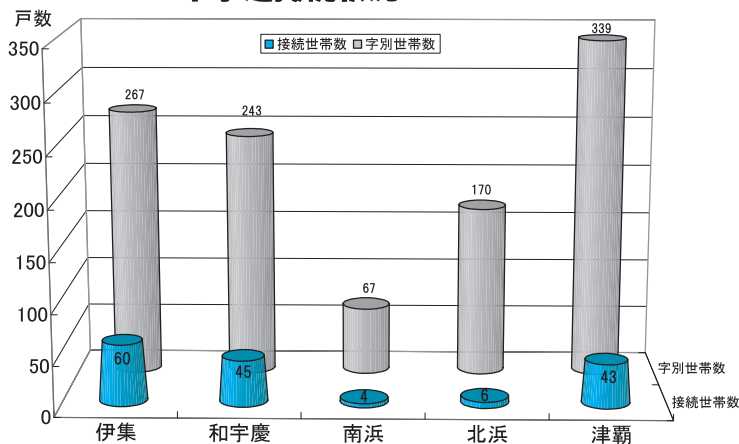
▲給食づくりに挑戦した中学生



▲中城北中城消防本部で呼吸器着装訓練(上)、沖縄仮設での職場体験(下)



下水道の広報パレードの様子Ⅱ中城村役場
下水道の接続がまだの世帯は、早めに接続しましょう！
下水道接続状況 (H18.10月末)



下水道普及をPR

中城村・西原町・与那原町・南城市の4市町村からなる中城湾南部流域下水道促進協議会は9月6日、「下水道 きれいな未来 つくる道」をテーマに下水道の広報パレードを行いました。

また、役場駐車場では下水道展示会を開きその中で、下水道処理場から出た汚泥により作ったバカスを無料配布しました。歓迎のあいさつで新垣清徳村長は「私も下水道を接続したが悪臭が無くなり衛生的でさわやかになりました。下水道接続を推進し私達の中城湾をきれいな青い海にしましょう」と今後の中城公共下水道の抱負を述べました。

～第51回村陸上競技大会～

平成18年度総合優勝は 屋宜体協

新垣聖太さん(安里)が男子110MH、16'41で新記録！
中頭地区大会でも15'4で新記録をマーク。

10月1日、村陸上大会が行われ、村体育協会のすべての種目が終了しました。

全種目の総合優勝は屋宜体協、2位に久場体協、3位が和宇慶体協の順位。陸上競技大会の結果は下のとおりとなっています。

今回行われた陸上競技では、一般男子110MHで安里体協の新垣聖太さんが16'41と新記録をマークするなどトラック競技、フィールド競技とも各支部代表の熱い戦いが繰り

広げられました。

また、10月15日は北谷陸上競技場で中頭群陸上競技大会が開催され、中城村は3位と健闘。

中頭大会でも新垣聖太さんが110MHで15'4と新記録をマークしました。その他、呉屋友菜さん(添石)が一般女子400Mで1'11、島袋修さん(登又)が一般男子円盤投げで35M21と村記録を出しています。

第51回陸上競技大会成績と平成18年度中城村体協全種目成績

	一般男子	一般女子	壮 年	陸上総合	全種目総合
1位	久場	屋宜	久場	屋宜	屋宜
2位	添石	登又	屋宜	久場	久場
3位	安里	久場	南上原	和宇慶	和宇慶

平成18年度年末・年始のごみの出し方について

	年末収集日	年始収集日
燃えるごみ・燃えないごみ・危険ごみ・資源ごみ	12月30日(土)迄	1月4日(木)
粗大ごみ ※収集する週の月曜日から水曜日までに 事前申込みが必要です	第1週(12月7日) 第2週(14日) 第3週(21日) 第4週(28日)	第1週 1月4日(木)申込 1月5日(金)収集
し尿汲み取り ●環境整備(屋宜) 895-3834 ●中城環境(久場) 895-5993 ●あかつき環境(和宇慶) 895-3807	12月30日(土)迄	1月4日(木)から

* 11月23日(木)勤労感謝の日は、すべてのごみ収集が休みになります。
* 第4週の粗大ゴミの回収は11月24日(金)に行います。



民俗だより

第16号

「千人針」

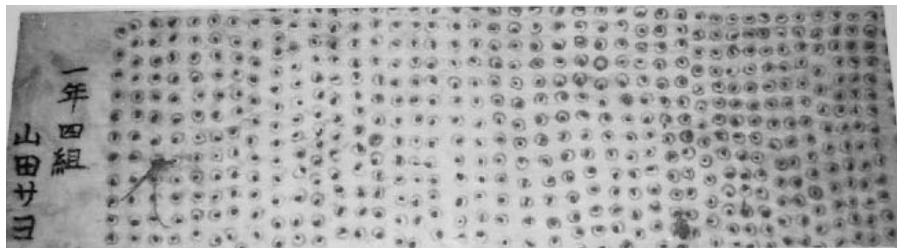
今回は、かつて出征兵士に贈られた「千人針」について紹介します。久場の比嘉盛英さんが、当時のままの「千人針」を保存しているというのを聞き、さっそく話をお聞きすることにしました。

この「千人針」は、二つに折られ、きれいに額に納められています。布には針を通す箇所一つ一つに赤鉛筆で○印が付けれ、その中に一針ずつ縫われたようです。また、制作者の方でしょうか、「一年四組山田サヨ」と書かれています。

これは、一九三九（昭和十四）年に、中国広東省を流れる珠江へ注一の警備敷設艇に配属された際、円島へ注二で慰問品としてもらったものだそうです。

そして、一九四四（昭和十九）年九月、フィリピンのダバス基地から魚雷艇隊として、参戦することになり、その時にこの「千人針」を体に付け、出撃を待っていたといえます。しかし、終戦を告げられ、幸運にも出撃せずに済んだのです。そのため、現在までこの「千人針」を大事に保存しています。

私は、初めて「千人針」を見たのですが、私のように戦争を経験していない若い世代



は、「千人針」についてほとんど知らないのではないかと思います。今回は、「千人針」とは何か、そして、どういう背景で作られるようになったのか、などについて紹介します。

千人針とは

「千人針」は、日中戦争開始とともに、召集されて行く夫や兄弟、そして恋人のために、女性たちが「メートルほどの白布に、赤い糸で千個の縫い玉を作り、贈ったものです。」

一針ずつ心を込めて縫ったこの「千人針」を身につけていけば、弾に当たらないという言い伝えがあり、戦場へ送られた兵士たちは、これをお腹に巻いたり、また帽子に縫いつけたりするなどして肌身離さず身につけていました。

本来「千人針」は、千人の女性で一人一針の結び目を作るのですが、「虎は千里行つて千里帰る（虎は一日の間に千里の道を往き、また戻って来ることが出来る）」という故事から、虎に思いを託して寅年生まれの女性は、年の数だけ糸を通すことが出来たといえます。

また、「五銭は死（四）線を越え、十銭は苦（九）線を越える」という意味から、五銭玉や十銭玉を、縫いつけることもありました。

千人針の起源

「千人針」の起源については、様々な民間信仰が付随して発展したものだと考えられています。

その一つに、雨乞いや虫送りなど多数の人の力でもって目的を達成させるといふ合力祈願があります。また、四国や九州では、子供が七歳の一月七日に、七草雑炊や餅を近隣七軒からもらい集めて食べさせる習慣があり、そうすると子供が丈夫に育つといえます。そして、秋田では、三十三軒から余り布をもらい集めて、着物を縫って着せると子供がよく育つと言われています。

このように、千人針も、危機ある人のために、多人数の力をあわせて、危機を無事に脱却させようとする動機から出た呪願であるとも、考えられています。

そして、「千人針」に刺す赤色の糸にも、厄年に赤いものを身につける、疱瘡よけに赤色を使用するなど、赤に対する思想が反映されていると考えられています。

布に刺し込むという行為は、背守のように魔物が入らないように刺し込むことあり、この行為にも呪術的な意味があるので、はと考えられています。

また、「千人針」を女性が作るという点では、沖縄のオナリ神信仰へ注三に通じるのではないか、という考えもあるようです。

村内の女性たちによる千人針作り

第二次世界大戦に突入した頃、村内でも、女性たちによる「千人針」作りが盛んに行

われるようになりました。

夫や兄弟、婚約者が戦場に送り出されることが決まると、「千人針」を作るため、ムラの女性を一人一人尋ね、また女性が多く集まる場所などに行き、針を通してもらいました。しかし、農村ですから、昼間は畑仕事で忙しく、夕方になると家畜に餌をやったり、夕食の準備などをしたりと忙しい毎日でしたが、誰一人それを断る人はいなかったといえます。

当時は、出征兵士を送り出す時には、「無事に生きて帰ってきて下さい」とは言えない状況にありました。そのため、女性たちは切なる思いを、この「千人針」に込め、愛する人の無事を祈ったのでした。

また、各ムラでは出陣式が行われ、例えば久場では、現在の公民館から中城城跡へ向かう道（賀武道線）で、ムラ中の人が集



伊舎堂のお宮

まり出征兵士を送り出しました。また、伊舎堂では、昭和十一年（一九三六）年に、公民化教育を徹底するために作られた「お宮」で、武

運長久へ注四を願い、送り出しました。

当時戦争に協力させられ、戦場へ送り出

された男性と、その無事を願い、帰りを待ち続けた女性たちの様々な想いを、この一枚の「千人針」が訴えているような気がしてなりません。

〈注一〉

香港とマカオの間を通って南シナ海に注いでいる。流域面積は、長江に次ぐ中国第二の広さである。

〈注二〉

中華人民共和国東北地区（満州）、遼寧省旅順口の南東四十四海里、黄海北西部に位置する島。

〈注三〉

女性など姉妹に兄弟を守護する霊力があると信じられた民間信仰。かつては航海などに出るとき、姉妹は守護のしるしとして、ティシャージや毛髪をもたせた。

〈注四〉

戦場における勝負の運に長く恵まれること。

参考文献

『千人針は語る』（二〇〇五年）

森南海子

『沖縄大百科事典』（一九八三年）

沖縄タイムス社

教育委員会生涯学習課

宮城 早綾佳



石綿業務に従事した 離職者に対する 特別健康診断について

石綿を製造し、又は取り扱う作業に従事して退職した方で、以下の全ての項目を満たしている方を対象とします。

- ①従事していた作業が特定できること。
- ②初回ばく露から10年以上経過していること。
- ③以前石綿作業に従事していた事業場が廃業や倒産、退職者に対する健康診断を拒否等の理由で石綿健康診断を受診できない状況にあること。
- ④石綿に係る健康管理手帳を所有していないこと。

* 申請された方全員が受診できるとは限りません。

受付期間：11月1日～17日

事前に申請書を入手し、申請者本人が記入して下さい。

【お問い合わせ】

国立病院機構 沖縄病院

電話 898-2121



募 集

沖縄県立美咲養護学校 平成19年度幼稚部幼児 (3～5歳児)募集

平成19年度の幼児募集に向けて、募集説明会を下記の通り行います。

◎対象年齢

平成19年3月31日で、満年齢が3歳、4歳、5歳に達する幼児。

◎入学募集要項説明会

平成18年12月13日 午後3時
美咲養護学校幼稚部

◎出願期間

平成19年2月5日～6日

◎入学者選考

平成19年3月7日か8日

◎募集定員

1学級5名

【お問い合わせ】

沖縄県立美咲養護学校

電 話 938-1037

FAX 938-7700

コザ高等学校定時制 特別募集

特別募集とは、中学校卒業後事情により高校へ進学できなかった方、またはやむを得ず高校中退した方に、高校教育を受ける機会を与えるための制度です。

●応募資格

勤労者で平成19年3月31日現在で20歳以上の者

●出願期間

平成19年2月6日、7日

9:00～17:00

(但し7日は16:00まで)

●入試期日

平成19年3月8日

(作文および面接の結果と調査書その他必要な書類で選抜いたします)

【お問い合わせ】

沖縄県立コザ高等学校

定時制課程

電話 937-3563

「見逃さないで！」 あなたの近くに潜んでいます

住民のみなさん。警察では11月中を指名手配被疑者捜査強化月間とし特に重大な犯罪の被疑者を早期検挙するために総力を挙げて追跡捜査に取り組んでいるところです。

指名手配被疑者によく似た人を見かけたという情報など、どんなささいなことでも結構ですので警察に通報していただくようお願いいたします。

【お問い合わせ】

宜野湾警察署刑事第一課

電話 898-0110

村税の納期です！！

11月30日は村県民税、12月25日は固定資産税
第3期分の納期限です。

村税の納付をうっかりお忘れではありませんか？

納付の手間が省ける便利な口座振替が利用できます。

指定された預金口座から自動的に払い込まれるので、納期の度に金融機関へ行く必要がありません。(領収書は各納期後にお送りします)。

なお、振替手数料は村が負担します。

◎申込み手続き

納税通知書の中にある「口座振替払届出書」又は役場窓口(各字自治会長宅)に申込み用紙がありますので、必要事項を記入の上、取引先の金融機関窓口へ申込みください。

【お問い合わせ】

中城村役場税務課 電話 895-2131 (241・242)

案内・お知らせ



お知らせ

小・中学校の 保護者の皆様へ

1, 就学援助(学用品費・修学旅行費等の援助)の申請について

◎平成19年2月末日までに各学校担任へ申請。(新入学児童については入学式後)

◎申請書は各学校で準備しています。

2, 就学援助を受けることができる範囲

◆生活保護を受けていたが生活保護廃止になった方。

◆村民税・県民税が非課税の方(世帯全員が所得割・均等割とも課税されていない方)

◆児童扶養手当を受給している方(保護者に村民税所得割が課されていない方)。

◆その他、上記に準ずる程度に困っていると教育委員会が認めた方。

3, 援助費目

○新入学用品費

(小・中学校1年生のみ)

○学用品費・校外活動費(全員)

○修学旅行費

(小学6年、中学2年で参加者)

○医療費

(全員但し、学校病に限る)

※詳細については、中城村教育委員会教育総務課へお問い合わせ下さい。

中城村教育委員会

教育総務課

電話 895-3276

国保に加入するとき・ やめるとき

次に該当する人は、必ず14日以内に届け出ましょう。

加入するとき

●他の市区町村から転入した日
(職場の健康保険などに加入していない場合)

●職場の健康保険等をやめた日
(退職日の翌日)

●子どもが生まれた日

●生活保護を受けなくなった日

やめるとき

●ほかの市区町村へ転出した日、
またはその日

●職場の健康保険などへ加入した日の翌日

●死亡した日の翌日

●生活保護を受け始めた日

【お問い合わせ】

村役場福祉保険課

国民健康保険係

電話 895-2131

(251・252)

第58回人権週間 特設人権相談所開設

人権擁護委員が下記の日程で相談をお受けします。

子どもの人権に関する相談、女性の人権に関する相談、人権問題についての相談、家庭内もめごとなどの困りごと相談など、お気軽にご相談ください。

相談は無料で秘密は固く守られます。

日 時：平成18年12月5日

午前10時～午後4時

場 所：吉の浦会館

相談者：中城村人権擁護委員

安里ヨシ子

【お問い合わせ】

中城村役場住民生活課

電話 894-2131

原付自転車、軽自動車等 の異動手続きはお早めに

軽自動車税は、毎年4月1日現在の所有者に1年分課税されます。月割りはありません。次のような場合は早めに申告手続きをされるようお知らせします。

①原付自転車(125cc未満)

◎所有した場合

所有者の住所地市町村役場へ

◎譲渡した場合

新しい所有者の住んでいる市町村役場へ

◎抹消(廃棄・譲渡・盗難等)

中城村役場へ

◎転入転出の場合

新住所地の市町村役場へ

②軽自動車、軽二輪(125cc～250cc未満)・・・軽自動車協会へ

③小型二輪車(250cc以上)

陸軍事務所へ

④小型特殊自動車(農耕作業用、その他) 定置場の市町村役場へ

※乗用の農耕作業用等を所有したら標識の交付申請が必要です。

【お問い合わせ】

中城村役場税務課

電話 895-2131

(241)

2007おきなわマラソンの お知らせ

開催日：2月25日(日)

申込期間：11月1日～12月8日

参加料：

◎フルマラソン

一般/4,000円、高校生/3,000円

◎10kmロードレース

一般/4,000円、高校生/3,000円

【お問い合わせ】

おきなわマラソン実行委員会

電話 930-0088

行事日程は、変更することがありますので、あらかじめ確認してからお出かけください。

1 10月11日 金 友 引		1 11月13日 月 大 安	元旦
2 10月12日 土 先 負		2 11月14日 火 赤 口	
3 10月13日 日 仏 減		3 11月15日 水 先 勝	
4 10月14日 月 大 安		4 11月16日 木 友 引	仕事始め
5 10月15日 火 赤 口		5 11月17日 金 先 負	
6 10月16日 水 先 勝		6 11月18日 土 仏 減	
7 10月17日 木 友 引	3歳児健診（吉の浦会館）	7 11月19日 日 大 安	成人式
8 10月18日 金 先 負		8 11月20日 月 赤 口	成人の日
9 10月19日 土 仏 減		9 11月21日 火 先 勝	南上原ふれあい事業
10 10月20日 日 大 安	子ども発表会（村子連）	10 11月22日 水 友 引	浜・当間ふれあい事業
11 10月21日 月 赤 口		11 11月23日 木 先 負	1歳6ヶ月児健診（吉の浦会館）
12 10月22日 火 先 勝	南上原・伊舎堂ふれあい事業	12 11月24日 金 仏 減	
13 10月23日 水 友 引	当間ふれあい事業	13 11月25日 土 大 安	乳児一般健診（吉の浦会館）
14 10月24日 木 先 負	歯科検診（吉の浦会館）	14 11月26日 日 赤 口	
15 10月25日 金 仏 減	奥間ふれあい事業	15 11月27日 月 先 勝	
16 10月26日 土 大 安		16 11月28日 火 友 引	
17 10月27日 日 赤 口		17 11月29日 水 先 負	
18 10月28日 月 先 勝		18 11月30日 木 仏 減	
19 10月29日 火 友 引	浜・北上原ふれあい事業	19 12月1日 金 赤 口	新春ゲートボール大会 奥間ふれあい事業
20 11月1日 水 大 安		20 12月2日 土 先 勝	
21 11月2日 木 赤 口	乳幼児健診（吉の浦会館）	21 12月3日 日 友 引	新春トリムマラソン大会
22 11月3日 金 先 勝		22 12月4日 月 先 負	
23 11月4日 土 友 引	天皇誕生日	23 12月5日 火 仏 減	離乳食実習（吉の浦会館）
24 11月5日 日 先 負		24 12月6日 水 大 安	北上原ふれあい事業
25 11月6日 月 仏 減		25 12月7日 木 赤 口	伊舎堂ふれあい事業
26 11月7日 火 大 安		26 12月8日 金 先 勝	
27 11月8日 水 赤 口		27 12月9日 土 友 引	
28 11月9日 木 先 勝	仕事納め	28 12月10日 日 先 負	
29 11月10日 金 友 引		29 12月11日 月 仏 減	
30 11月11日 土 先 負		30 12月12日 火 大 安	
31 11月12日 日 仏 減		31 12月13日 水 赤 口	B C G 予防接種（吉の浦会館）

中城村の人口

平成18年10月末現在

人 口 16,290 （－5）

男 8,307 （－2）

女 7,983 （－7）

世帯数 5,778 （＋9）

※（ ）内は前月との比較

中城村育英会へ次の方々からご芳志がありました。
ありがとうございました。

村山ヨシ様 南上原32番地 10万円 米寿祝い記念寄付金として
新垣フミ様 伊集148番地 5万円 米寿祝い記念寄付金として
安里清正様 新垣249番地 5万円 故母安里千代様香典返しとして
※寄付金は、人材育成のために有効に活用させていただきます。

平成19年度 保育所入所児童募集案

平成19年4月1日入所の保育児童（0歳【生後3ヶ月以上】から小学校就学前）、障害児保育（集団保育可能な3歳児以上の児童）の入所受付を下記のとおり行います。

現在入所している方、申し込みの手続きをしていて入所できなかった方も、再申込みが必要です。ので手続きもれのないように注意してください。

なお、母子家庭・父子家庭である方は、申込みのときに申し出てください。

◎受付期間：1月9日（火）～19日（金）

土・日を除く

◎受付場所：村役場福祉保険課

◎必要な書類

1. 保育所入所申込書（児童1人につき1枚）
2. 住民票謄本（特別）※履歴有り
3. 納税（課税）証明書
（平成18年1月1日現在、中城村以外に住んでいた方は、前市町村からの課税証明書が必要です）
4. 平成18年分の源泉徴収票又は所得税確定申告書の写し

平成19年度 障がい児保育募集

村内在住のおおむね3歳児以上の障がい児で、保護者が仕事や病気などで十分な保育ができない場合、集団保育が可能な中軽度の障がい児を保育します。

なお、特児・身障・療育手帳を所持している若しくは申請をしている児童が対象となります。（言葉がおそい等、お子さんの発達が気になる方は保健師に相談してください）

◎入所方法：申請受付後、中城村障がい児保育措置会議において協議後入所を決定します。

◎保育期間：平成19年4月1日
～平成20年3月31日

◎受付場所：村役場福祉保険課

◎募集期間：平成18年11月20日（月）
～11月30日（木）土・日除く

※諸事情により募集期間を過ぎた場合は福祉保険課までご相談ください

お問い合わせ 中城村役場福祉保険課 児童福祉係 電話 895-2131(262)

平成18年12月1日より 出産育児一時金の受取代理制度の導入(予定)について

出産育児一時金の支給とは、被保険者が出産したとき35万円を支給されます。妊娠12週（85日）以降であれば死産・流産でも支給されます。

出産育児一時金の受取代理は、被保険者が病院、診療所又は、助産所（以下「医療機関」という。）を受取代理人として出産育児一時金を事前に申請し、医療機関等が被保険者に対して請求する出産費用の額35万円を限度として、医療機関等が被保険者に代わって出産育児一時金を受け取るにより、被保険者が医療機関等の窓口において出産費用を支払う負担を軽減することを目的とし、平成18年12月1日（金）より受取代理制度の導入を予定しています。

※国民健康保険税の滞納のある世帯は、受取代理はできません。

【お問い合わせ】

福祉保険課 国民健康保険係

電話 895-2131 内線（251・252） 担当 比嘉





★むらの★ Topics ★の★話題★

11月5日

区民総出で賑わう。久場「秋祭り」

11月4日・5日、区民の融和と地域の活性化を図り子どもたちの健全育成に役立てようと、久場秋祭りが久場公民館及びグラウンドで開催されました。

この祭りは2年ごとに開催されており今回2回目となります。2日間にわたって開催された秋祭りの1日目は、文化作品展が行われ、書道、草木染め、久場の歴史を振り返る昔の写真など、数多くの作品が展示されました。

2日目に行われた舞台発表では、幼稚園児からお年寄りまで区民総出で参加し、会場にも多くの観客が詰めかけました。

オープニングセレモニーは、前回の祭りをきっかけに結成された青年部が力強いエイサーを披露。現在はメンバーの数も増え、演舞にも磨きがかかり、村の行事を中心に様々なイベントでも活躍しています。

新垣和昭実行委員長(自治会長)は「祭りの目的は区民の融和。区民みんなで地域の活性化に取り組んでいきましょう」とあいさつしました。



11月4日、全ての人々の平和を願う村慰霊祭が慰霊の塔で執り行われ、村遺族会を始め約百名余りの多くの関係者が参加しました。

新垣清徳村長は「過去の過ちを二度と繰り返かえしてはならない。犠牲になられた多くの方々のためにも後世に平和の尊さを伝えていきます」とあいさつし、去る6月の長雨土砂災害で中城村は大きな被害を受けそして、一人の犠牲者もなかったことを御霊に報告しました。

また、中城中学校の儀間智くんは「沖縄戦で中城村は、当時の住民の約半数が亡くなったことを知りとても悲しい思いになった。自分たちが若い世代が二度と戦争を起こさず、平和な世界を守っていかねばと思う」とあいさつしました。

11月4日

恒久平和を願って 村慰霊祭を開催

10月29日

各支部とも練習の成果を発表

第7回中城村婦人芸能の集いが10月29日、吉の浦会館で行われました。

今年から伊集支部が活動を再開し、華やかな衣装を身につけた9支部の婦人たちが、日頃の練習の成果を発表しました。会場には500名を越える観客が集まり、立見も出るほど大盛況でした。

仲本喜至三線研究所による子ども三線で幕を開けた集いは、琉球舞踊や創作ダンス、フラダンスなど18項目にわたる演目が披露されました。

また、自治会長会や老人クラブ、中城中学校の空手演舞、村文化協会の共演も婦人芸能の集いに花を添え、訪れた観客は楽しい一日を過ごしました。

最後は、全員でカチャーシーを踊り、会場は大いに盛りあがりました。



9月29日

炎天下の中、熱戦を展開

9月29日、中城老人クラブによるグランドゴルフ大会が吉の浦運動公園で開催されました。グランドゴルフを通し健康づくり、会員の親睦を深めることを目的としています。

18チーム108名が参加。当間チームの玉井ハツさんと宮城和子さんは「初めてだけどコースを重ねることに上達している」と楽しそうに話しました。結果は次のとおり。

【団体の部】1位：添石A、2位：屋宜、3位：北上原B
【個人の部】1位：比嘉樽一（添石A）、2位：多和田真栄（北上原B）、3位：比嘉正徳（添石A）



10月16日

障害を乗り越え、夢に向かって一歩前進

去る7月に行われた第24回民謡コンクール(琉球民謡協会主催)で障害者としては初の新人奨励賞を受賞した呉屋盛人さん(サンヒルズタウン)。

呉屋さんは、はごろも福祉作業室(島袋加代子室長＝宜野湾市)に勤めながら、毎週日曜日にバスとモノレールで那覇空港の体験三線教室に通っていたほど民謡が大好き。後に両親が通っている新垣親徳民謡教室に入門し2度目の挑戦で新人賞を受賞しました。

「障害で指を自由に動かすことができず何度もくじけそうになったが、周囲の励ましもあってここまでこれた。師範になることが目標」と三線を片手に笑顔で話しました。

また、呉屋さんは音感も抜群で、足の骨折で入院中にCDの音を聞いて独学で優秀賞の課題曲をマスター。

熱心に努力を積み重ねる呉屋さんの姿は、同じ障害をもつ人だけでなく、多くの人に希望を与えるでしょう。



フォトニュース

地域の環境について学ぶ

10月17日、総合学習の一環として中城小学校5年生百名が屋宜の海岸清掃活動を行いました。海岸にはペットボトル、空き缶、ビンといった日常生活から出るゴミや自転車などの粗大ゴミまでさまざま、児童らは分別の仕方を丁寧に確認しながら海岸をきれいにしていました。また、10月5日には津覇小学校4年生が青葉苑を訪れ自分たちの出すゴミがどのように処理されるのか学びました。資源ゴミは一つ一つ丁寧に手選別されることを知り驚いていました。

和宇慶で敬老会・十五夜祭

10月8日、和宇慶敬老会・十五夜まつりが開催され多くの区民が集まりました。第一部の敬老会の後、第二部の十五夜まつりには子ども会、婦人会、長寿会による多くの余興で盛りあがりました。また、10月に行われた世界のウチナインチュ大会へ参加するためにアメリカから訪れていた美恵子メロウさんが琉球舞踊を披露し、出身区である和宇慶区民と交流を図りました。



氷彫刻で県知事賞

9月23日に開催された沖縄県調理技能競技大会氷彫刻部門で島袋賀政さん(屋宜)が沖縄県知事賞を受賞しました。

島袋さんはコックを勤める傍ら、本島中部のホテル調理人で構成するアイスビーブル友の会の幹事として活躍。今回「ストレッツ1,2,3」をテーマに氷彫刻では難しいとされる人体の彫刻に挑戦し見事県知事賞に輝きました。



中城中、地区陸上で健闘

9月28日に行われた中頭地区中学校陸上大会で、女子が優勝、男女総合で2位と健闘しました。惜しくも4連覇達成はできませんでしたが、チームワークの良さはとても素晴らしかったと垣コーチは話していました。地区陸上で1位入賞した平安名常心さん(100MH)と女子400Mリレーが県大会でも見事1位となりました。また、比嘉万祐子さんが100MHで2位となっています。

研修の成果を披露

8月末に来沖した南米からの研修生3名が、10月6日、役場庁舎で三線の発表を行いました。これは、第4回世界のウチナインチュ大会のPRをかねたもので、一ヶ月の研修の成果を披露しました。沖縄で自分のルーツを探してきた3名は、沖縄の文化の素晴らしさに感激。ウチナインチュであることを誇りに思い、残りの研修期間でもっと沖縄の文化を学び、帰国後は、同世代のウチナインチュに沖縄の素晴らしさを伝えたいと話しました。

